

松江水彩畫講習會

奥村芳夫

八月四日 午後零時半、大下講師美保關より小蒸汽船にて大橋着、直ちに迎へて末次本町皆美館に到る、間もなく講師並に竹下一郎氏と共に城山公園を覽視し、寫生地を此處に決定す。

八月五日 講習會第一日なり。午前八時半會場師範學校附屬小學校に於て開會、主催者簡單なる挨拶を爲し、直ちに講師の講話に移り、一時間にして終了、夫より四個所に設けたる靜物モデルにつきて寫生を爲し、正午終了、モデルは洋書に扇子、提燈にマツチ、植木鉢に水差、和本等なり。

午後、城山公園にて戶外寫生、講師は一々巡覽懇篤なる指導あり、神社、茶亭、石垣、樹木等多く畫題となれり。

八月六日 本日より午前七時半始業、午前の課業前日に同じ、本日よりモデルを五ヶ所となし、ピール塚に林檎を加ふ。午後、戶外寫生前日に同じ。

夜七時、日の出館合宿所に於て茶話會を開き講師の出席あり、竹下氏一場の挨拶を述べ、夫れより互に氏名の交換を爲し、次で講師の日本風景論、諸氏の趣味ある談話等ありて盛會、十時散會す。

八月七日 午前の課目前日の通、モデルの取替たるものは朝顔西瓜等なり。

午後、前日の如し。夜七時半合宿所に於て、講師の水彩畫研究に關する有益なる夜間講話あり、九時散會、此日講師の作品數

十點を陳列し、會場を公開したり。

八月八日 例刻開會、竹下氏の遠近論講話約一時間ありて、直ちに靜物寫生に移る。

モデルをサイダー瓶に夏ミカン、コップにホーヅキに取替。午後、前日の通り。

八月九日 午前課業例の如し、モデルの取替たるものは南瓜、雜囊に草花なり。

午後前日の通、寫生終り後天守閣前に於て記念撮影を爲す。

八月十日 午前例の如し。モデルは三脚にスケッチブックと取替。

午後は當市西端湖畔なる堂方に於て集合寫生。畫題となりしは松並木、遠山、湖等なり。

八月十一日 最終の日なり、講話終りて會員の作品を各教室に陳列して、講師の懇篤なる批評を受く。

午後三時、講話室に於て閉式會を舉げ、主催者立つて閉會の辭を述べ、講師亦一場の挨拶及最後の講話あり、それより送別茶話會に移り、茶菓の間餘興續いて起り、拍手歡呼の聲堂に満ち、頗る盛會を極む、やがて互に惜別の涙を呑みて、散會せしは正に六時、こゝに永く記念とすべき講習會は全く終了せり。

附記 本講習會開催に當り、萬事不行届なりしにも拘らず、無事終局を告ぐるを得たるは、全く講師其他諸君の與へられたる多大の援助の然らしむる處にして、予の深く感謝する處なり、就中會友竹下氏は、終始本會の爲に努力せられて、殊に講習開

催前、四日間豫習會を開き、自ら其講師たられ、爲に初學者を益する處尠からず、又遠來の會友藤田紫舟氏は、開會中大下講師を輔けて、會員を指導せられ、猶會員並河榮四郎氏は、會場の借入設備萬端に就き盡力せられたる等、何れも感謝措く能はざる處、茲に謹んで謝辭を呈す。

松江講習雜感

飄花

○講習第一日に先生の作品を拜見した時の感じは一寸忘れることは出来ない、嬉しいやら珍らしいやら、私等の様な原色版組は只呆乎としてしまつた。然し二度目に説明をして戴いた時には、調子とか色彩とか少しは分つた、そして原色版と異なる點も認め得た。以來は原色版に對しても原畫の感じを想像して見る事が出来ると思つた。

○先生のお顔は寫眞で度々拜見してゐた故か、初にお目にかゝつた様な氣はしなかつた、そして想像してゐた通りの人格のお方であつた。全く江戸兒式で誰れにでも能く談されるのは嬉しかつた。多數の學生が敬慕する譯だと思つた。講話振りもむまゝいものであつた。あれが三脚君かと思ふとお可笑かつた。

○講話で思ひ出したが、竹下先生の透視畫法の講話もお手のものであつた。口が三分で手眞似が七分であつた。

○松江は水郷丈けあつて、他では澤山に見られない構圖を有してゐた。公園は感服しなかつた。御自慢の大橋も橋梁美はなかつた、あれが極ライズの少ないフラット、アーチであつたら面

白ろからうと思つた。

○畫材に苦しむのは馬鹿くしい、先生は宿の前の蘇鐵と裏の凌霄花も畫面に入れておかれた。成程畫材は何處でもあると思つた。吾々がそれを見出す事の出来ないのは目の修養が足りなからだ。

○講習で澤山な繪を見て目を肥やした他に、直接印象したものは少かつた。要するに講話は『みづる』を熟讀すれば分ることである、然し歸つてから一枚畫いて見ると、妙に畫き振りがこはれてゐたのは自分ながら驚いた、是れが講習の効果であらうと思つた。同感の會員もあるのに違ひない。

合宿所評判記(松江講習會)

松江の宿は實に愉快だつたね、△全くだよ名前からして威勢の良い日の出館さ△其處でこの宿の同志を自ら命名して日の出黨は振つたらう△あまり美術的な命名でもないね△扣へてる黨員僅かに十一名ではあつたが遠く千山萬波を越えて來た土佐節廣島ガンスの古つはものを始めとして孰れも目の出の如き有爲な連中斗りよ△それが悉く意氣相投して仲のよい事不思議な位△人數は少なくて室は廣い上に清潔△殊に湖岸に臨んで居るので涼風不斷は何よりの御馳走△加ふるに二階から見た朝夕湖上の美觀は壯絶麗絶△欄干越しに素ツ裸體でスケッチが出来る△何しろ空前の合宿所であつた△大に主催者に感謝します△タツタ十一人ぢや珍談も有まいね△どうして處が大有り△既に